

中山の園 一戸・二戸エリア担当部

経営方針

住み慣れた地域で安心して生きがいを持って長く生活し続けられるよう、人権擁護と個人の尊厳を保持しながら、個々のニーズに合った適切なサービスを提供し、生活の質や安心・安全に配慮した利用者本位のサービス提供に努めます。

利用者が社会に参画し、豊かな生活を送ることができるよう支援するとともに、地域福祉の推進に努めます。

質の高いサービスを提供するため、常に学ぶ姿勢を保ち、専門性の向上等に取り組めます。

多様なニーズの把握に努め、関係する施設・事業所等との連携を図りながら、多くの方々に利用していただくことにより自主・自律経営の実現を目指します。

■ 共同生活事業所「中山の園」

[共同生活援助（介護サービス包括型）]

■ 共同生活事業所「二戸」

[共同生活援助（介護サービス包括型）]

■ 生活介護事業所「ふたば」

[生活介護]

■ 障害福祉サービス事業所「ワークなかやま」

[就労継続支援B型、就労定着支援、職場適応援助者助成金（ジョブコーチ）事業]

取り巻く環境

利用者の高齢化により通院支援を含む健康管理支援が年々大きくなっているほか、入所施設への移行または、検討が必要な事案等が多くなってきています。

また、特別支援学校卒業生や精神科病院退院者等、多様な利用ニーズに対応するためには、福祉的就労の場や生活の場の確保など環境面への配慮が必要です。

さらに、多様化・複雑化する地域の福祉ニーズに対応するため、職員の専門的知識や技術の習得など支援スキルの向上や市町村、特別支援学校、病院などの各関係機関との連携、協力体制の強化が求められています。

事業の重点事項

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権侵害・虐待防止に関する職員の意識の向上を図るため、人権侵害自己チェックの実施や虐待防止委員会での身体拘束の把握と虐待事案の情報提供を行い、虐待防止の取組みを徹底するとともに、外部の研修会への参加や職場研修等を行います。

日々の支援を振り返り、職員間で個々の利用者の情報を共有するとともに、利用者主体の支援を目指します。

2 安心・安全なサービスの提供

利用者の高齢化や重度化に伴い、屋内外での転倒・転落、食事中の誤嚥等のリスク、また、精神的な要因と思われる粗暴行為等のリスクが増加していることから、リスクマネジメントによる分析や対策を講じて適切な支援に取り組みます。

事業所送迎時による事故を防止するため、昇降時の安全確認を徹底します。

3 セーフティネット機能の推進

当法人で培われたノウハウを活用し、関係機関と連携しながら、地域における多様化、複雑化する福祉ニーズに応えるとともに、「I W A T E・あんしんサポート事業」に基づく要請に応じます。

4 地域福祉の推進

事業所の有する専門性を生かして、体験入所など地域の福祉ニーズに応えます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限される中においても可能な限り取り組み、地域とのつながりを大切にしていきます。

5 働きがいのある職場づくり

世話人及び生活支援員の確保に向け、ハローワークの求人や職員等への口コミなど積極的に求人活動に取り組みます。

ワークライフバランスに配慮した業務の効率化、時間外労働の縮減、計画的な年次有給休暇の取得に取り組み、長く働き続けられる職場環境づくりに努めます。

また、所管する事業所が地域に点在していることから、職員間の日常的なコミュニケーションを図り、風通しの良い職場づくりに努めます。

6 経営の安定に向けて

共同生活事業所について、支援体制の見直しや今後のあり方についても検討し、事業所運営の効率化を図ります。

相談支援事業所・特別支援学校・病院等と利用者ニーズに係る情報共有と連携を密にし、積極的な利用受け入れを行い、安定的な収入の確保に取り組みます。